

令和4年度 第1回瀬戸市地域公共交通会議 会議録

開催日時	令和4年6月20日（月） 午前10時から正午まで				
開催場所	瀬戸市役所 東庁舎4階 大会議室				
出席委員	22名	欠席委員	2名	傍聴者	6名
会議概要	<p><b>1 会長あいさつ</b>          (事務局)          会長を務める市長は本日欠席でございますので、申し訳ありませんが、次に進ませていただきます。</p> <p><b>2 議長あいさつ</b>          (議長)          本日は、お集まりいただきましてありがとうございます。          昨年度の交通関係の決算はコロナの影響で依然として厳しい状況ですが、みなさんの生活の中で必要なものであることに違いはないので、本日もよりよい公共交通に向けて議論していきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。          まずは、運輸支局さんより配布資料について説明をお願いします。</p> <p><b>3 議事</b>          議事に入る前に国土交通省中部運輸局愛知運輸支局より資料について説明。要点は以下のとおり          (国土交通省 中部運輸局 愛知運輸支局)          ・公共交通会議は、よりよい公共交通の実現のため市町村と委員の皆様が協議をするものなので活発な議論のためにも不明な点をぜひ質問してほしい          ・疑義があることで地元の方達が何を求めているか把握できる</p> <p>(議長)          皆様からご質問はありますか。          質問がないようですので、続きまして議事について事務局より説明をお願いします。</p> <p>(1) 報告事項 令和3年度事業報告について          別紙資料1に従って事務局から説明</p> <p>(質疑応答)          (議長)          ご説明いただきました内容について、何か皆様からご質問等ございましたらお受けしますが、いかがでしょうか。</p> <p>(公募市民)</p>				

3 ページに計画の達成状況を把握するための数値指標が5つありますが、①から③については、この資料のどちらで確認できますか。

(議長)

事務局から説明をお願いします。

(事務局)

瀬戸市地域網形成計画にて目標に対して定めさせていただいているものが3ページに記載があります5つの指標となります。①から③の指標については、最新の数値を把握していないのが現状です。特に①の公共交通の満足度については、瀬戸市総合計画を策定する際にアンケートによって確認するため、毎年更新されるものではありません。③の公共交通の人口カバー率は、バス停が新設されるたびに最新の数値を把握しているものではなく、一定の期間おきに把握していきたいと考えています。最後に②の鉄道の利用者数については、把握しているものもございますが、また最新の数値をまとめて、次回以降の会議で報告させていただきます。

(公募市民)

アンケートは何年周期で行っているのでしょうか。

(事務局)

瀬戸市総合計画の周期に合わせて行いますので今年度を実施予定です。そのため今年度末もしくは来年度の頭には結果を報告できると思います。

(議長)

瀬戸市公共交通網形成計画全体としては、どのようなタイミングで数値指標を整理するのでしょうか。

(事務局)

瀬戸市地域網形成計画の中間評価の年度が2023年度となっていますので今年度のアンケートの結果等を来年度ご説明させていただければと思います。

(議長)

その他何か質問はございますか。

(公募市民)

住民バスについてですが、自家用有償運送への移行の検討を行うとの話がありましたが、進捗状況はいかがでしょうか。

(事務局)

自家用有償への移行につきましては、地域の皆様と協議したところ今後も無償で運行したいとの意向をもっているため、自家用有償への移行は進んでいないということが現状です。

ただ、有償ボランティアの整理も含めて今後も継続的に協議を行いたいと思います。

(議長)

他はいかがでしょうか。

(公募市民)

アンケートの実施方法はどのようなものでしょうか。

(議長)

事務局から説明をお願いします。

(事務局)

瀬戸市総合計画の策定の際に行うものため、詳細は不明ですが、無作為抽出で2000人に対して行っているものです。

(議長)

他はいかがでしょうか。

(副議長)

こちらの資料を見れば利用者数が厳しい状況なのは分かりますが、次のアクションとしてどのように利用者を増やして路線維持するかが大事です。例えば岩屋堂線は現状1便当たり約1人しか乗っておりませんが、通院、買い物といった日常の利用以外にも観光レジャーでの利用も見込めるのではないかと思います。岩屋堂は名鉄バスからコミュニティバスを乗り継ぐことで尾張瀬戸駅から行くことができます。土日も運行しているのでその情報をわかりやすく伝えれば、県外から1泊2日でジブリパークへ来ている方が観光してくれる可能性を秘めていると思います。

(議長)

資料の見方や既存路線の活用方法の考え方についてのご意見でした。他に何か意見はございますか。

(公募市民)

副議長の話でもあったとおり、岩屋堂線は、生活利用者以外の利用も見込める路線だと思います。他の路線でも季節によってダイヤを変えるなど生活交通としての意義以外の視点からも議論できればと考えます。

(議長)

生活交通の確保が大事だと思いますが、今後少しでも観光系の施策も試せると良いですね。事務局いかがでしょうか。

(事務局)

瀬戸市地域公共交通網形成計画にあるとおり、生活交通の確保が第一優先ではありますが、多角的な視点をもって考えていきたいと思っています。

(議長)

ありがとうございます。

こちらは報告事項ですので次に進ませていただきます。

- (2) 協議事項 令和3年度瀬戸市地域公共交通会議決算について  
別紙資料2に従って事務局から説明

(質疑応答)

(議長)

ご説明いただきました内容について、何か皆様からご質問等がございましたらお受けしますが、いかがでしょうか。

(公募市民)

令和2年度の決算より事業費が約3500万円下がっていますが、なぜでしょうか。

(議長)

事務局、説明をお願いします。

(事務局)

市内基幹バスにつきましては、令和2年度に比べて緊急事態宣言が発令されていた期間が短くなったことによりじの丘学園の臨時便の運航回数が減少したことや名鉄バス様の人件費が下がったことによるものです。

住民バスの費用が増加している点ですが、そもそも住民バスの市の負担金の算出方法は全体の事業費から地域の負担金を差し引いたものとなります。地域の負担割合は、2年前のコミュニティバスの収支率を基づいて算出されるものですが、令和3年度より令和2年度の方が算出対象の年度の収支率が良かったため、住民バスの費用が高くなっております。

(議長)

他に意見はございますか。  
では、監査報告をお願いします。

(瀬戸市障害者団体連絡協議会)

瀬戸市地域公共交通会議財務規程第9条第2項に基づき、水野委員と監査を実施し、令和2年度瀬戸市地域公共交通会議の収支決算については、いずれも適正に執行されたことをご報告申し上げます。

以上です。

(議長)

他はいかがでしょうか。  
この件について、特にご意見がなければ、原案のとおり可としてよろしいでしょうか。

採決 <全会一致で承認>

(3) 協議事項 生活交通確保維持改善計画について

別紙資料3に従って事務局から説明

(質疑応答)

(議長)

そもそもなぜこの計画が必要なのかを存じ上げない方もいらっしゃると思います

ので、運輸支局様に補足をお願いしたいと思います。

(国土交通省 中部運輸局 愛知運輸支局)

大まかな概要とはなりますが、幹線に接続する支線のバスに対する補助金をもらうために必要な計画となるものです。

(議長)

補足となりますが、幹線に接続する支線は、本来幹線より利用者が少ないものですが、必要不可欠なものです。そのため支線を維持してもらうために補助金が支払われるというものです。

この件について何か質問等ございますか。

(公募市民)

令和3年度に塩草町のバス停の新設がなされましたが、こちらは利用促進の一環としてされたものでしょうか。

(事務局)

塩草町のバス停の新設については、利用促進のためというよりは塩草町の区画整理事業が進み、人口の増加に対応して延伸したものです。

(公募市民)

塩草町の利用実態としては、通学利用が多いのでしょうか。

(事務局)

元々は地域住民の生活交通の確保の意味合いで新設したのですが、現状の利用実態としては、通学の利用が多いと把握しております。

(公募市民)

承知しました。塩草町については、今後統計の調査でも東明連区ではなく祖母懐連区に入るとされているので12の地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要については、祖母懐も加えた方がよいかもかもしれません。

(議長)

徐々に地域の状況が変わってきているというのが事実だと思います。

赤津線は、近年便数や系統の変更など目まぐるしく変化があった路線で非常に興味深い路線だと思います。今後も地域の状況に適應できるよう検討していきたいですね。

他はいかがでしょうか。

(公募市民)

赤津線については、にじの丘学園の利用者が多い関係で夏の利用者数が減るため、季節ごとのダイヤを検討したらいかがでしょうか。

(事務局)

赤津線については、事務局としても季節ごとのダイヤを検討し、名鉄バス様と調整を行ったことはありますが、出校日等の関係で調整が難しいため、実現しており

ません。ただ、今後も名鉄バス様と協議しながら可能な方法を模索したいと思いません。

(議長)

他はいかがでしょうか。

(愛知県 瀬戸警察署)

バスの乗り方教室についてお願いがあります。今年度もバスの死角からバスを降りて道路を横断しようとした歩行者とバスを追い抜いた原動機付自転車の接触事故がありました。バスを利用する際の安全上の注意点を伝えるためにぜひ警察を呼んでいただければと思います。

(議長)

バスに乗るまでと降りた後の安全上の配慮までお伝えしないと本当の意味での乗り方教室にはならないという意見です。

では、他にご意見はございますか。

(国土交通省 中部運輸局 愛知運輸支局)

特に子供の動きは読めないところがあるため、乗り方教室や運輸支局が配布したチラシを用いて教育して頂ければ幸いです。

また、乗合事業者様は気にする点が多く、大変ですが先ほどの話のような事故がないよう注意して運行して頂ければと思います。

(議長)

他にご意見はございますか。

(公募市民)

にじの丘学園については、シルバー人材センターにて児童・生徒の通学における見守りサポートを行っていましたが、7月1日からなくなってしまいます。

そのため、今後は他の方面から児童・生徒の安全を確保する必要があると思います。

(議長)

事務局はその点について把握されていますでしょうか。

(事務局)

把握しております。今後、にじの丘学園でも乗り方教室を行えればと思います。

(議長)

では、この件について、他に特にご意見がなければ、原案のとおり可としてよろしいでしょうか。

採決 <全会一致で承認>

(4) 報告事項 地域間感染系統確保維持計画について

別紙資料4に従って事務局から説明

**(質疑応答)**

(議長)

名鉄バスについて話でしたので名鉄バス様からこの路線についてや利用促進策についてご説明いただけますでしょうか。

(名鉄バス株式会社)

シルバークラス・ゴールドクラスについては、それぞれ65歳以上、70歳以上を対象としたものであり、一定額で購入いただきますと名鉄バスのすべての路線バスにおいて利用できるものです。こちらは新型コロナウイルスの感染拡大によって厳しい状況が続いている中、唯一右肩上がりで利用者が増えている事業です。瀬戸地区や名古屋へお出かけいただく際だけでなく弊社は岡崎から一宮等まで広いエリアで運行しておりますので、普段の買い物だけでなく遠出をする機会を創出するために作られたものです。

また、会員様になっていただきますとめ〜バス日和という冊子を配布させていただいており、さらなるバスの利用促進を図っております。今後は、行政と協力して様々なイベントを検討できればと思います。

(議長)

名鉄バス本地ヶ原線は、記載のとおり名古屋から瀬戸を繋いでいるもので重要な役割を果たしているものです。このような路線については、収支が悪くなった時に撤退されると影響が大きいので、補助金が出ているものです。

ただ、補助金を出す際に路線の必要性の有無を検討するためにこのような資料を提出しております。

何か他にご意見はありますか。

こちらは報告事項ですので次に進ませていただきます。

(5) 協議事項 コミュニティバス曾野線のバス停新設について

別紙資料5に従って事務局から説明

**(質疑応答)**

(議長)

ご説明いただきました内容について、何か皆様からご質問等がございましたらお受けしますが、いかがでしょうか。

(公募市民)

新設されるバス停は、前後のバス停からどの程度離れているのでしょうか。

(事務局)

曾野口からは約300m、北脇からは約250m程度の距離となります。

(議長)

委員の皆様の理解を深めるため、曾野線の既存経路上に穴田バス停を新設するに至った経緯をもう一度説明いただいてもよろしいでしょうか。

(事務局)

元々は、曾野線の路線を曾野系統と穴田系統に分けるという案がありましたが、運行協議会との協議の中で調整がつかなかったため、今回の案のとおり既存経路上でできる限り穴田町の集落に近い場所にバス停を設置することとしました。

(公募市民)

承知しました。以前山畑のバス停付近において交通規制を設ける話が出ていたと思いますが、今回のダイヤ改正においてその影響はないでしょうか。

(議長)

では、瀬戸警察様から状況を教えてください。

(愛知県 瀬戸警察署)

現在、バスが通る時間には交通規制がかからないように地元と調整しています。その他幼稚園バスが通行することも判明しておりますのでそういったバスが仮に交通規制をかけたとしても規制から除かれるような形にする可能性もありますが、いずれにせよ問題ありません。

(議長)

他はいかがでしょうか。

(国土交通省 中部運輸局 愛知運輸支局)

3点程お伝えしたいことがあります。

1点目は、ダイヤがタイトになりますので早発にならないよう運行事業者様は気を付けてもらえればと思います。

2点目は、事後で結構ですので停留所設置について届出を提出してください。

最後に念のための確認ですが、横断歩道や交差点に近い場所にバス停はないということでもよろしかったでしょうか。

(事務局)

交差点から10m以上離れた位置に設置する等警察のマニュアルに沿ってバス停の設置箇所を選定したため、そのような問題はないと認識しております。

(議長)

資料で仮称穴田としていますが、正式名称がないと申請できないと思います。正式名称はまだ決まっていないのでしょうか。

(事務局)

資料上では、仮称と記載しておりますが、すでに穴田というバス停名で調整を進めていますので、仮称については削除させていただきます。

(議長)

他はいかがでしょうか。

この件について、特にご意見がなければ、原案のとおり可としてよろしいでしょうか。



採決〈全会一致で承認〉

【議長】

予定されていましたが議事はすべて終わりましたが、最後にその他として各委員様から配布資料がありますので、まず副議長から資料についての説明をお願いします。

(6) その他

当日配布されたジブリパークと瀬戸市観光交通に関するアンケート調査結果（抜粋）について副議長より説明。要点は以下のとおり

(副議長)

- ・ジブリパークが11月に開園するため、どのような方が来訪されるかまた瀬戸市への観光の可能性を調査した
- ・ジブリパークへの来園意向については、比較的若い女性の方で強いことが分かった
- ・瀬戸市への観光意向については、東京や大阪など遠方の若い女性の方が観光の意向があることが分かった
- ・ジブリパークー瀬戸市間の交通手段については、東京や大阪など大都市部の方は、路線バス、鉄道、観光地巡回小型バスの意向が多い。せっかく瀬戸市への観光意向が高いのに交通手段が不便だと来てもらえないので、何か手を打った方が良い
- ・瀬戸市は市内にタクシー事業者、コミュニティバス、路線バスがあり、全国的に見れば交通手段はあるため、あとはどのようにニーズに合わせるかだと思う
- ・支払い手段については、東京の方は現金以外での支払いの意向が強く、特に交通系ICカードの支払いを求めているため、今後対応が必要になると考える

(議長)

では、続きましてエリア版Ma a Sアプリ「Cent X」について名古屋鉄道株式会社様より説明をお願いします。

資料に従って名古屋鉄道株式会社より説明。要点は以下のとおり

(名古屋鉄道株式会社)

- ・コロナ禍において地域の活性化や外出機会の創出のため3月からアプリをリリースした
- ・このアプリの機能としては、愛知県、岐阜県、三重県の定時定路線の電車、バス等の各公共交通機関のルート検索が可能
- ・目的地が決まっていない場合もお出かけ情報として観光協会に登録しているイベント情報が全て検索可能なため、外出機会の増加が期待できる

(議長)

では、続きまして「公共交通でおでかけだ」について運輸支局様より説明をお願いします。

資料に従って運輸支局より説明。要点は以下のとおり

【国土交通省 中部運輸局 愛知運輸支局】

・現在は感染対策してお出かけをしてほしいというのが国の方針になるので、注意すべき点は注意しつつ、公共交通を利用して出かけてほしい

(質疑応答)

(議長)

これまでの件についてご質問等ございますでしょうか。

(公募市民)

アンケートの結果、約7割が瀬戸市を訪問したいとのことでしたが、具体的な観光地は挙げず、瀬戸市に来たいかどうかという質問をされたのでしょうか。

(副議長)

瀬戸市の観光地の情報やジブリパークからの距離はどの程度か伝えたくて観光の意向を確認したものです。

(議長)

その他意見もないようですので、事務局に進行をお返しいたします。

○ 閉会

(事務局)

磯部議長、ありがとうございました。

委員の皆様におかれましても、お忙しい中、長時間にわたりご議論いただきまして、誠にありがとうございました。

なお、後日開催通知を送付いたしますが、第2回の会議の日程は12月下旬の開催を予定しておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、以上をもちまして、令和4年度第1回瀬戸市地域公共交通会議を終了とさせていただきます。どうもありがとうございました。